

翠雨の人

著者名： 伊与原 新
出版社： 新潮社

私はあきらめない。科学が導いてくれるたったひとつの真実を見つけるまで——。「雨は、なぜ降るのだろう」。少女時代に雨の原理に素朴な疑問を抱いて、戦前、女性が理系の教育を受ける機会に恵まれない時代から、科学の道を志した猿橋勝子。戦後、アメリカのビキニ水爆実験で降った「死の灰」による放射能汚染の測定にたずさわり、後年、核実験の抑止に影響を与える研究成果をあげた。その生涯にわたる科学への情熱をよみがえらせる長篇小説。

橘の家

著者名： 中西 智佐乃
出版社： 新潮社

庭のその木は、人の生殖に力を与えるという。人類の業を扶る三島賞受賞作。幼い頃に2階から落ちたが庭の橘の木のおかげで助かったことがある恵実。以来、木の力を恵実が媒介するという噂が流れ、子どもを望む人々が大勢家を訪れるようになった。自分にすぎる彼らの気持ちに戸惑いながらも役割を果たす恵実だったが、そのことが自身や家族に暗い影を落とし——子孫繁栄という常識を揺さぶる問題作。

大人になった僕たちはどう生きるか

著者名： 松井 洋治
出版社： PHP研究所

20年前、青年だった筆者は「世界一周」の夢を持ちがむしゃらに働き続けた。現在は独立をし、経営者として多忙な日々を過ごしながらも、青年の頃から持ち続けた夢を捨てきれずにいた。中小企業診断士として多くの企業の支援もする筆者は、「これまでできなかったことに挑戦をする」という行動そのものの重要性に気づく。一念発起をして世界一周の旅に出た筆者は、次第に多くの人とは仕事や金銭面、家庭など様々な理由で自ら行動に制限をかけていると感じ始める。本書は人生に制限をかける「囚われ」からおのれ自身を解放し、生き方の可能性を広げる教訓に満ちた紀行文である

おれの足音〈決定版〉 下 大石内蔵助

著者名： 池波 正太郎
出版社： 文藝春秋

これが池波版「忠臣蔵」だ！
主人・浅野内匠頭が刃傷沙汰を起さなければ、大石内蔵助は妻子と平凡な一生を送ったに違いない。だが国家老として成すべきことがある。それ以外に「おれの生きる道はない」。吉良邸討入りの夜、積もった雪のなかを死に向かって歩を進めた大石が、最後に脳裡に浮かべたものは？

暦のしずく

著者名： 沢木耕太郎
出版社： 朝日新聞出版

宝暦八年、獄門を申し渡された講釈師・馬場文耕。長屋暮らしの文耕は、かつてなぜ刀を捨て、そして獄門に処されることになったのか？謎に包まれた実在の人物、文耕の生涯を端正な文章と魅力的な登場人物で描き出す。沢木耕太郎、初にして堂々たる時代小説！

蛍たちの祈り

著者名： 町田 そのこ
出版社： 東京創元社

蛍が舞う夏祭りの夜——山間にある小さな町に暮らす中学生の坂邑幸恵と桐生隆之は、生きるために互いの秘密を守り合うことを決めた。それから十五年後、大人になった幸恵と隆之の予期せぬ再会が、家族や友人、町の人々の人生に大きな影響を与えていく。明かせぬ秘密を抱え、思い描いた道のりではなかった。それでも、この小さな光が照らす世界を大切に生きたい。一人一人のささやかな祈りを描いた、心震える傑作小説。

殺戮の天使 Until Death do them Part

著者名： 木爾 チレン
出版社： KADOKAWA

ビルの最下層で目を覚ました13歳の少女レイ。彼女は記憶を失い、自分がどうしてここにいるかさえ分からずにいた。そこに現れたのは全身包帯で覆われた殺人鬼ザック。「お願いがあるの お願い、私を殺して」「一緒にここから出る手助けをしてくれよ。そしたらお前を、殺してやるよ」二人の奇妙な絆は、そんな“イカれた約束”をキッカケに深まっていく。果たして、ここはどこなのか。二人は何の目的で閉じこめられたのか。彼らを待ち受ける運命とは。密閉されたビルから脱出する決死行がはじまった……！

クアトロ・ラガッツィ（上）天正少年使節と世界帝国

著者名： 若桑 みどり
出版社： 集英社

歴史の荒波を生きた四人の少年の軌跡。世界経済とカトリック教会の世界布教という二つの大きな波が押し寄せた信長・秀吉の時代の日本。怒濤の世界へ船出し、初めてローマを見た天正少年使節とは何だったのか。新しい日本を見出す大作。

新！ 店長がバカすぎて

著者名： 早見 和真
出版社： 角川春樹事務所

宮崎の山奥に異動になっていた山本猛元店長が、三年ぶりに、吉祥寺本店に店長として復帰した。張り切る店長だが、相変わらず、人を苛立たせる天才だ。しかし京子は、心の中で「お帰りなさい」とつぶやいた。そんな中、本や書店を取り巻く環境はますます厳しくなってきたが、それでも京子は、新人作家の才能に出逢い、打ちのめされ、好きな作家の新作に心躍らせ、時には泣き、笑い、怒り、日々戦っています。スタッフの磯田さんや、覆面作家だった大西先生や神楽坂で小料理屋を営む親父さんや、優しき先輩たちに、応援を受けながら――。小説と書店の未来を、仕事の意味を、生きる希望を改めて深く問い直す、第二弾。

はたらく細胞（3）

著者名： 清水 茜
出版社： 講談社

キラーT細胞、ヘルパーT細胞。2人は胸腺学校時代の同期だった！？彼らの知られざる青春時代を描いた「胸腺細胞」をはじめ、「血液循環」「風邪症候群」「獲得免疫」「ニキビ」の全5編を収録！！

動物と話せる少女リリアーネ 3
イルカ救出大作戦！

著者名： タニヤ・シュテブナー
出版社： 学研

海でおぼれたリリアーネを助けたのは、イルカの妹弟だった。このイルカたちは、モーターボートや水上バイクに追いたてられて、北の海に迷いこんでしまったのだ。リリアーネとイザヤは、ペンションの娘フェリーネと共に、イルカを救出するある作戦を思いつく。

べるっばのホットケーキミックス研究所

著者名： べるっば
出版社： 扶桑社

ホットケーキミックスを使ったお菓子を紹介するYouTubeチャンネル「べるっばのホットケーキミックス研究所」。ホットケーキミックスを使ったお菓子というと子ども向けのカジュアルなものが多いのですが、べるっばさんが紹介するのは「お店ほどではないけど、ちゃんとおいしい」大人向けの本格お菓子です。フルーツを使ったリッチなものや、見ているだけでもうっとりするような美しいビジュアルのもの。パッと見では難しそうですが、ホットケーキミックスを使うからその作り方は簡単！さあ、あなたもホットケーキミックス研究所の研究員となって、おいしいお菓子を作ってみませんか？

薬屋のひとりごと 6

著者名： 日向夏
出版社： 主婦の友社

西都にて、王氏に求婚された猫猫。今まであやふやだった関係が大きく変わろうとしていた。今までと変わりなく接したい猫猫に王氏は焦る。皇弟として、政に関わる者に恋という自由はない。猫猫もまた、王氏の心を知りつつも、己の立場を考えると首を縦に振ることはできない。軍師羅漢の縁者、それが西都で用意された猫猫の肩書だった。猫猫は重い気持ちのまま、ある決断をくだすのだが――

いのちをまもる図鑑

著者名： 池上彰 他
出版社： ダイヤモンド社

じつは、命の危険はある日突然、おとすれます。・ハチに襲われた！・クマに遭遇した！・目の前で人がおぼれている！・アメがのどにつまった！・不審者がついてくる……こうしたピンチを乗り切るために重要なのは「知識」です。「日常で遭遇する可能性のある危険」と、その「対処法」を知っていれば、落ち着いて最適な行動がとれるようになります。大切なのは、まず「知ること」。本書では、楽しいイラストとともに76の危険回避法を紹介します。

ポケモン生態図鑑

著者名： 株式会社ポケモン
出版社： 小学館

ポケモンの「生態」を解き明かす！「ポケットモンスター」シリーズに登場する「ポケモン図鑑」。この中には、ポケモンの観察や研究の成果がつまっている。その図鑑の説明文を、生態学や行動学の視点から、違い、共通点、法則、つながりといったキーワードに注目して分類、解説したのがこの「ポケモン生態図鑑」だ！

運河で生きる ～都市を支えた横浜の“河川運河”～

著者名： 横浜都市発展記念館
出版社： 横浜市ふるさと歴史財団

開港後、港湾都市として発達した横浜。そこには多くの河川が流れていました。自然河川と人工河川からなる”河川運河”は東京湾を通じて、東京や三浦半島、房総半島とつながり、一大輸送網を形成しました。ところが重要なインフラであった”河川運河”は高度成長期にかけて、輸送革新や水質汚染といった問題に直面します。1960年代～70年代以降、その姿を大きく変えて、市民の生活を支える親水空間として復活していきます。”河川運河”の形成、成長、衰退から復活に至る景観の変化と、そこに生きた人々の歴史を紐解きます。